

第10期

自 2022 年 4 月 1 日
至 2023 年 3 月 31 日

事業報告書



一般財団法人 とちぎメディカルセンター

住所 栃木県栃木市境町27番21号

電話 0282 (20) 1281

目 次

I. 事業の概況	1
（1）事業活動	1
（2）施設別事業の展開と結果	7
II. 事業運営に関する事項	10
（1）役員の状況	10
（2）事業の経過	11
（3）事業実績	14
III. 各施設の事業実績	16
（1）外来患者数の状況	16
（2）入院患者数の状況	16
（3）健診・検診事業 実施状況	16
（4）介護老人保健施設とちぎの郷 稼働状況	17
（5）訪問看護ステーション 稼働状況	17
（6）居宅介護支援事業所 稼働状況	17
（7）施設の設置状況	18
（8）職員の状況	20

～運営理念～

「心」の通う優れた医療を提供し、地域から信頼され愛されるメディカルセンターを目指します。

基本方針

1. 患者さん主体の安心・安全な質の高い医療、説明のよく行き届いた医療を提供します。
2. 治し、支える医療実現のために地域完結型医療体制を充実させ、地域包括ケアシステムの中核を担います。
3. 緊急性の高い疾患に対応できるよう救急医療体制の充実を図ります。
4. 質の高い医療を恒常的に提供できるよう健全経営を目指します。
5. 誇りを持って働ける職場環境を整備し、患者さんに最善のサービスができるよう努めます。
6. 恒常的な資質向上と次世代の育成を図るため教育プログラムを充実させます。

I. 事業の概況

(1) 事業活動

一般財団法人とちぎメディカルセンター（以下、「TMC」という。）の法人設立10期目の節目となる2022年度は、一昨年度、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」という。）の数次にわたる流行の波の影響を大きく受けた年となった。

このため、職員全員が院内感染を絶対に起こさないとの強い自覚を持ち、感染防止対策に万全を期すことを基本として、県からのコロナ入院患者受入病床（以下、「コロナ病床」という。）確保等の協力要請に迅速かつ的確に対応し、コロナ重点医療機関としてコロナ患者の受け入れに積極的に取り組むとともに、入院・外来等の通常診療の確保にも努め、地域の中核医療機関としての責務を全うしてきた。

感染防止対策としては、TMC独自の感染防止策であるWマスク（N95マスクとサージカルマスク）の常時着用をはじめ、就業制限やPCR検査等の厳格な運用を維持継続することとした。また、TMC感染対策合同委員会を毎月開催し、地域や法人内の感染動向を注視しながら、感染実態に即した対策を協議し、TMC行動指針として各種通達を随時発出するなどして職員全員に周知し、危機管理意識を徹底することにより院内クラスター防止等に努めてきた。

2022年度上期は、6月に森田新理事長が就任し、新執行体制がスタートした。2023年4月に創立10周年を迎えることを見据え、「原点回帰」をスローガンに掲げ、「設立時に策定された理念と基本構想」を再確認し、現状を評価した上で今後の法人のあるべき姿を追い求める姿勢を表明した。

まずは、重要事項を協議・決定する経営会議や戦略会議などの各種会議体を効率的かつ効果的に運営するための改革を行い、限られた時間の中で現状分析をもとに、経営課題にどのように対応すべきかを集中的に協議する仕組みを再構築した。特に、TMC戦略会議では、毎月の業績管理状況を確認・協議し、経営会議等を経て、的確な施策の実施方針を決定したことは、コロナ禍における事業収益向上に大きく寄与することとなった。

また、基本構想・見直しワーキンググループや電子カルテシステム更新ワーキンググループ等を発足させるとともに、新たに事業所別幹部会議を創設し、各事業所に経営幹部が出向いて、事業所が抱える課題をより掘り下げて協議し、迅速に方針決定ができるようにした。

7月～8月にかけて、オミクロン株BA4・BA5による第7波が到来し、栃木県の1日当たりの感染者数は3千人を超え、警戒度もレベル2に引き上げられた。TMCしもつがのコロナ入院患者は1日当たり20人を超え、ほぼ満床に迫

るまでの入院受入を行った。コロナによる受診控えの傾向が数年来、定着しつつある中で、外来部門は苦戦を強いられたが、TMC しもつがでは8月から9月にかけて入院患者が増加に転じ、入院部門は黒字を計上するまで回復することができた。この結果、2022年度上期の経常収益は前年度比▲160百万円の5,870百万円に止まったものの、本業である事業収益は前年度比+246百万円の5,610百万円に増加した。

2022年度下期は、第8波がTMCの経営に大きな爪痕を残すことになった。11月のTMC しもつが6W病棟クラスターによる約1ヶ月の入院患者受入れ制限や、12月のTMC とちのきでのクラスター発生による約2ヶ月半に渡る入院患者受入れ制限は、業績に対して大きなマイナス要因となった。特にTMC とちのきでは2022年度上期の平均入院患者数は207人と増加傾向にあったが、2023年1月単月の平均入院患者数が144人まで大きく減少した。

1月以降、TMC しもつがの入院診療収益は高い水準を維持し、2月には、TMC とちのきの入院患者受入が再開となり、3月にはクラスター前の水準まで大幅に回復するまでに至った。

また、とちぎの郷においては、1月に給食委託業者が入所者等に提供する食事を原因とするロタウイルスによる集団食中毒が発生したが、2月上旬まで新規入所者の受入れ制限を実施するとともに、施設の衛生管理と感染防止対策を徹底したことで、影響を最小限に止め、年度を通して80人を超える安定的な入所者数を確保することが出来た。

一方、コロナで休止することなく稼働した健診部門は、巡回健診における契約料金の見直しや、センター内健診での一般健診から人間ドック・特定健診への推奨等を実施したものの、大規模企業の自前健診移行やコロナ拡大による受診者の減少が影響し、収支を改善するまでに至らなかった。

こうした厳しい環境の下であったが、2023年3月単月ではTMC全体で88百万円の経常利益を計上するまでに回復し、年度を通しても本業である事業収益は、前年度比+384百万円の11,191百万円に増加し、コロナ前の2019年度の実績にあと322百万円まで迫る水準となった。これに県からの制度支援金等を加えた経常収益は事業計画を476百万円上回る12,949百万円となった。

一方、経常費用は、光熱費や医療資材の大幅な値上げに対し、節電の徹底や購入先の見直し等の自助努力により増加額を206百万円に抑えることができた。また、物価高騰に対しては、県・市から物価高騰対策補助金42百万円の貴重な支援が得られた。

これらにより、経常利益は603百万円となり、5期連続での経常利益黒字を達成することが出来た。本業である事業収益が伸びたことは、支援金に頼らない経営体制への足掛かりとなるものである。

【外来患者数の状況】

TMC しもつが外来患者数と年間紹介率

	患者数	1日当り	年間紹介率	外来診療収益 単位：百万円
'20	延 145,141 人	597.3人/日	67.8%	2,213
'21	延 150,410 人	621.5人/日 +24.2人/日	70.4%	2,214 + 1
'22	延 152,128 人	626.0人/日 + 4.5人/日	78.3%	2,203 ▲ 11

※年間紹介率は、初診紹介患者数を基礎とする

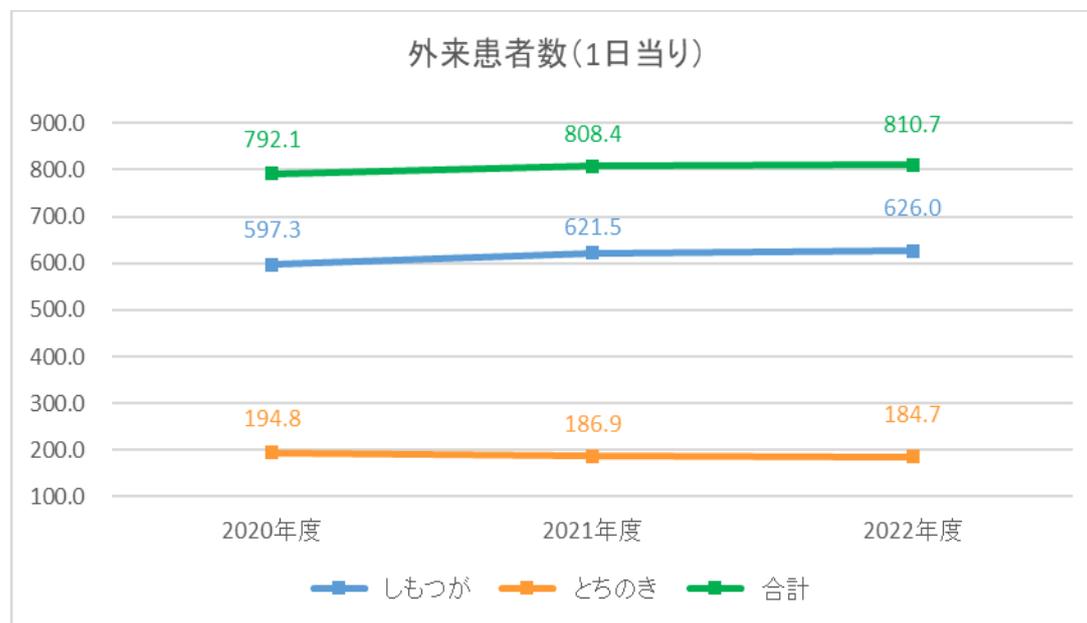
TMC とちのき外来患者数と年間紹介率

	患者数	1日当り	年間紹介率	外来診療収益 単位：百万円
'20	延 57,083 人	194.8人/日	29.6%	495
'21	延 54,759 人	226.3人/日 +31.5人/日	26.5%	518 + 23
'22	延 54,106 人	222.7人/日 ▲ 3.6人/日	21.5%	533 + 15

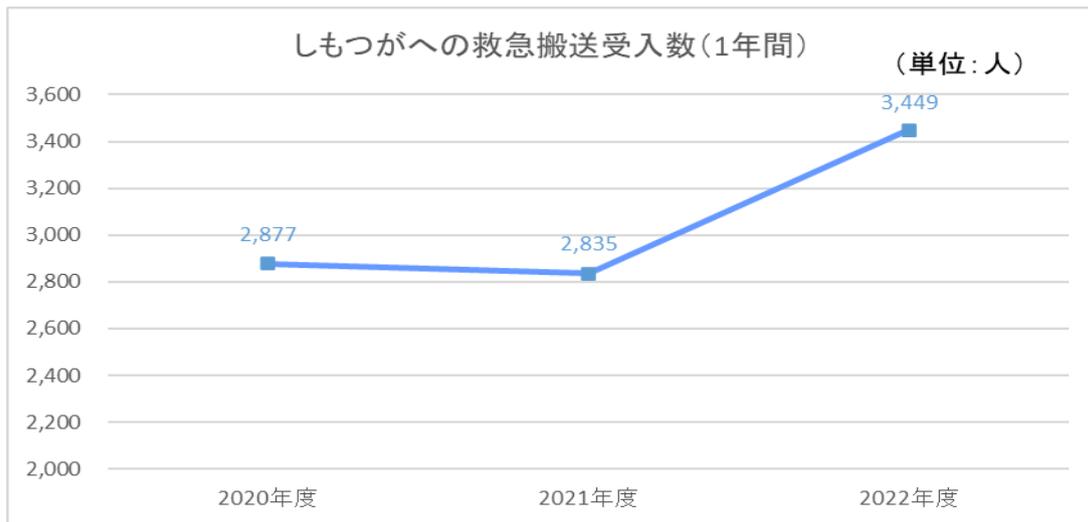
※年間紹介率は、初診紹介患者数を基礎とする

※2021年4月1日から土曜外来休診へ変更となり、週5日稼働へ

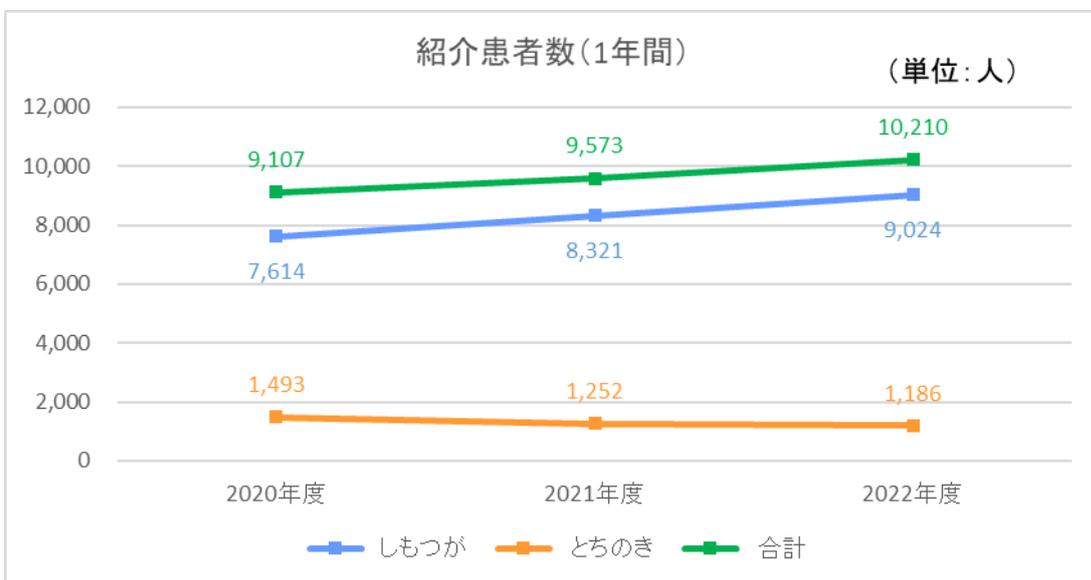
(グラフー1) 外来患者数の推移



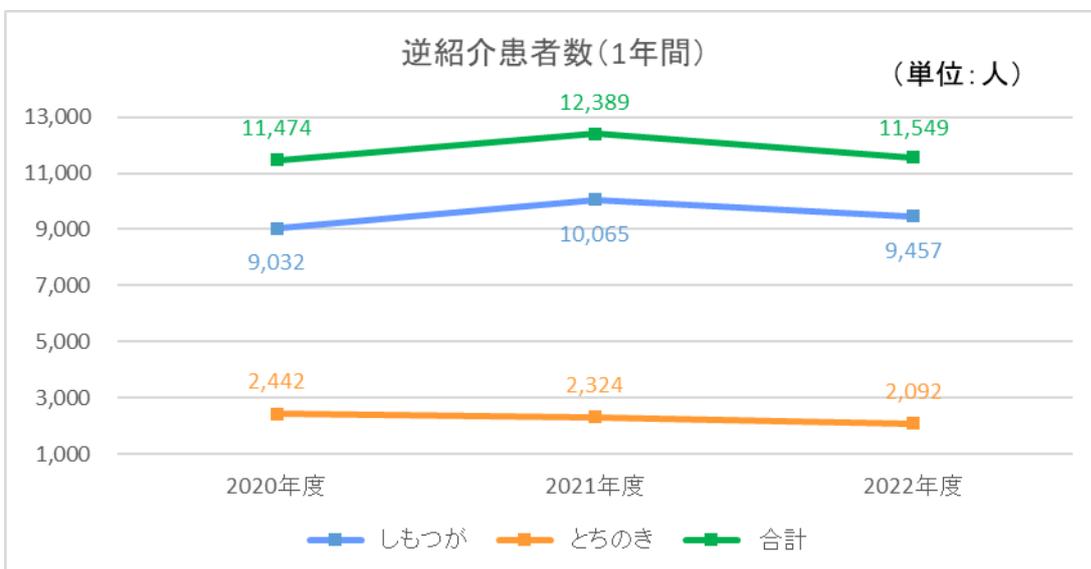
(グラフー2) 救急搬送受入数の推移



(グラフー3) 紹介患者数の推移



(グラフー4) 逆紹介患者数の推移



【入院患者数の状況】

TMC しもつが入院患者数と収益

	患者数	1日当り	入院診療収益 単位：百万円
'20	延 81,749 人	224.0人/日	4,435
'21	延 84,303 人	231.0人/日 + 7.0人/日	4,576 + 141
'22	延 88,354 人	242.1人/日 +11.1人/日	4,929 + 353

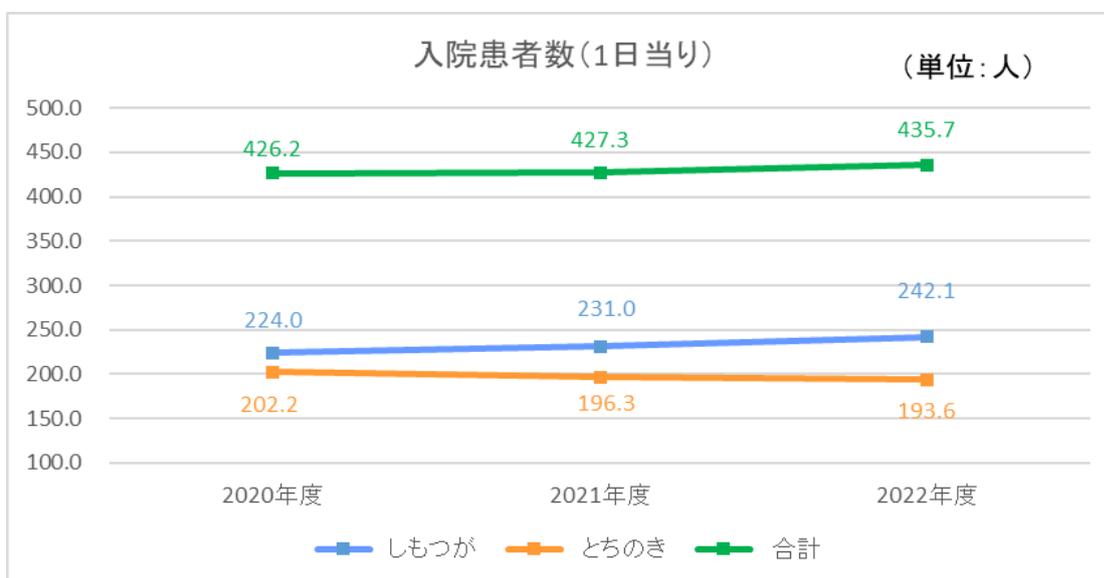
※入院診療収益は、給食・室料を除く

TMC とちのき入院患者数と収益

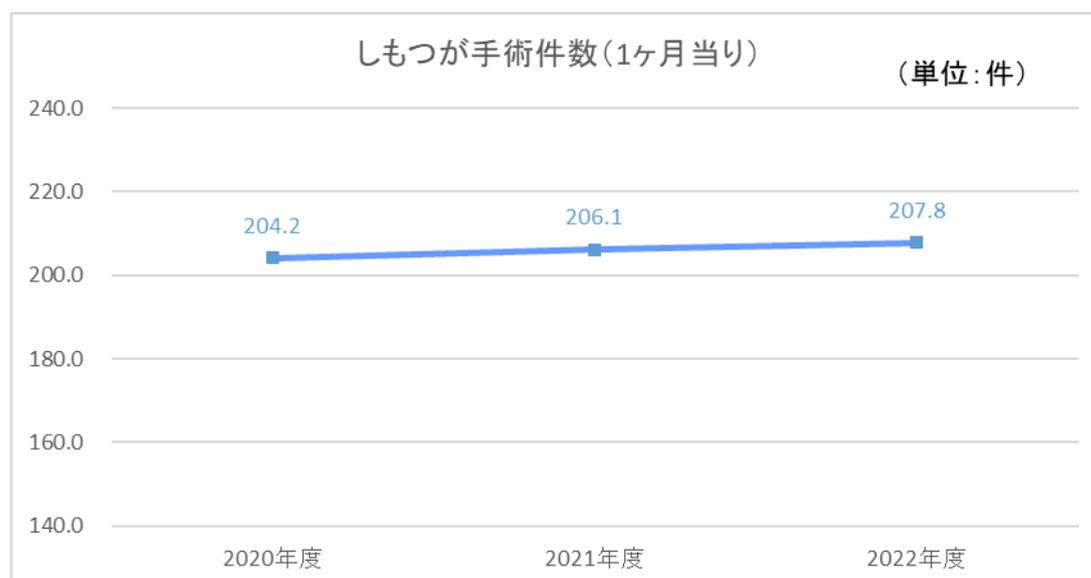
	患者数	1日当り	入院診療収益 単位：百万円
'20	延 73,816 人	202.2人/日	1,998
'21	延 71,650 人	196.3人/日 ▲ 5.9人/日	1,937 ▲ 61
'22	延 70,674 人	193.6人/日 ▲ 2.7人/日	1,948 + 11

※入院診療収益は、給食・室料を除く

(グラフ-5) 1日当り入院患者数の推移

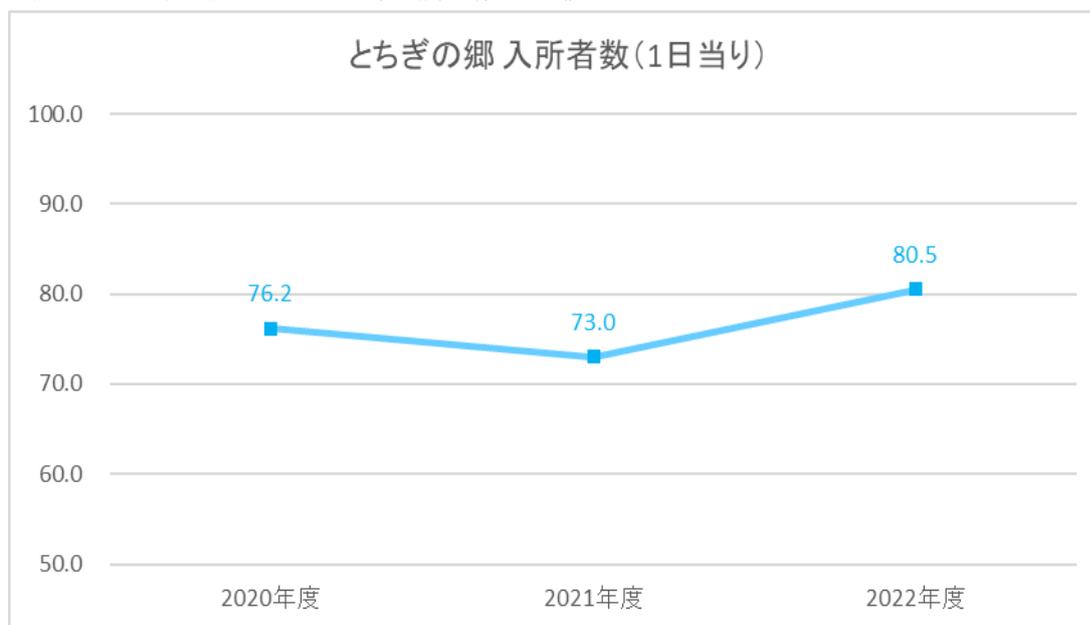


(グラフ-6) 手術件数の推移



【入所者数の状況】

(グラフー7) 老健とちぎの郷入所者数の推移



こうした状況下において、事業収益は 111.9 億円、受取補助金等 16.7 億円、医業外収益 8 千万円となり、合計で経常収益 129.5 億円を計上した。一方、事業費は 119.6 億円、管理費等 3.8 億円となり、合計で経常費用 123.5 億円（うち減価償却費 9.5 億円）を計上した。以上から当期経常増減額は 6.0 億円となり、5 期連続での経常黒字を達成した。

(2) 施設別事業の展開と結果

○TMCしもつが

診療体制について、9月から形成外科の非常勤医師1名の増員により、これまでの木曜日に加え火曜日の診療を開始した。また、自治医科大学の医師1名が、常勤職員採用となった。臨床研修医については、2年目となる3名に加え、新たに3名が研修を開始した。

コロナへの取り組みについては、栃木県のフェーズ及びニーズに合わせて確保病床数を随時変更（10月1日より24床→18床、12月1日より18床→24床、2月21日より24床→18床）するとともに、感染患者の積極的な受入れを行った。

外来患者数は延べ152,128人（1日当たり626.0人、前年度比+4.5人）で入院患者数は延べ88,354人（1日当たり242.1人、前年度比+11.1人）、病床稼働率は78.9%（前年度比+3.7%）、6階コロナ患者受入病棟除き87.4%（前年度比+3.9%）となった。また、手術件数は2,494件（前年度比+21件）、救急患者数は延べ5,961人（前年度比+396人）となった。うち救急車で搬送受入患者数が3,449人（前年度比+614人）となった。

11月に病棟クラスターが発生し、約1ヶ月の入院制限を余儀なくされるなど、コロナ感染拡大の大きな波に対応しながらも、外来、入院ともに前年度を上回ることが出来たが、厳しい経営状況が続く中において、国や栃木県等からの経営支援を受け、移転後7年目となる今年度の当期経常増減額は、933百万円（前年度比▲449百万円）となった。

○TMCとちのき

各機能別病床区分（急性期一般病床・療養病床・回復期リハビリテーション病床・地域包括ケア病床・緩和ケア病床計250床）にて引き続き稼働している。年度全般にわたり外来・入院共にコロナの影響を受けた。特に2022年12月から2023年2月に病棟クラスターが発生したことにより、院内感染拡大防止措置を講じた。

常勤医師数は10名の診療体制でスタートしたが、6月に内科医師1名を採用し、それ以降、11名の診療体制を年度末まで維持できた。

外来患者数については、病棟クラスターにより新患外来患者の受診制限を行ったこと等の影響もあり、延べ54,106人（前年度比▲653人）となった。

入院患者数については、在宅療養後方支援病院として登録施設数の拡大、大学病院及び地域の医療機関との地域医療連携体制の強化の促進を行うなど、患者数の増加に向けた取り組みを行い、徐々に患者数が増加していたが、病棟クラスターによる入院制限等が影響し、延べ70,674人（1日あたり193.6人、前年度比▲2.7人）となった。

健診部門については、市中の感染者数増加に伴い、体調不良によるキャンセルや受診日の変更等が増加したが、2022年度は人間ドック・各種健康診断を一時休止することなく業務を継続することができたため、人間ドック利用者数は延べ3,211人（前年度比+149人）となった。

また、前述の病棟クラスターには、コロナ対策入院病床確保事業費補助金が交付された。
以上の状況等から、当期経常増減額は+79百万円（前年度比+192百万円）となった。

○総合保健医療支援センター

（介護老人保健施設とちぎの郷）

2022年度はTMCしもつがでの病棟ラウンドを定期的実施する等連携体制の強化と居宅介護事業所のPRを行い、入所者の増加に向けた取組を強化した。その結果、入所者総数は29,397人（前年度比+2,747人）、1日当たりの入所者数80.5人（前年度比+7.7人）となり、コロナ前の入所者近くまで回復した。

通所リハビリ利用者については、コロナの影響により通所控え等が発生したが、ほぼ前年度並みの通所者数を維持することが出来た。〔総数は4,268人（前年度比+120人）、1日当たりの通所者数は14.6人（前年度比+0.6人）〕

1月に給食委託業者が入所者等に提供する食事を原因とするロタウイルスによる集団食中毒が発生したものの、受入制限による影響を最小限に止めるとともに、利用者への質の高い介護提供体制を維持しながら、感染防止対策に万全を期した結果、前年度に引き続き入所者からのコロナ感染者は一人も出さずに運営できた。

以上の状況等から、当期経常増減額は▲13百万円（前年度比+37百万円）となり黒字化にもう少して手が届くところまで来た。

（総合健診センター）

保健予防活動（人間ドック・特定健診・保健指導）の強化を図るため、巡回健診は各事業所ごとの収益率を基に契約料金を見直すとともにセンター内健診への移行など採算性を重視し、効率的な業務運営となるよう努めた。昨年、大規模企業の自前健診移行に伴う契約解除やコロナ感染拡大による受診者の減少等の影響により、巡回健診者数14,661人（前年度比▲5,139人）となり大きなマイナスとなった。

一方、センター内健診は、一般健診から人間ドック・特定健診への推奨・オプション検査の追加等、健診単価のアップを図った。健診者数はセンター内健診6,162人（前年度比+189人）と増加したが、人間ドックは利用者数526人（前年度比▲75人）に留まった。

学校健診は、健診単価の改定を実施した。健診者数は24,349人（前年度比+517人）、と増加した。

以上の収益向上策を実施したものの、巡回健診者数の減少が大きく影響し、当期経常増減額は▲45百万円（前年度比▲10百万円）となった。

（訪問看護ステーション）

訪問看護ステーションの利用者数は、コロナ感染拡大の影響により1,546人（介護保険1,241人・医療保険305人）、総訪問件数6,968件（看護師6,517件・リハビリ451件）、1日当たり29件（前年度比▲2.9件）となり、前年度より利用者数・訪問件数とも減少した。

地域のニーズに応えるため、休日の計画訪問、重症度の高い利用者の受け入れ、在宅での看取りを継続して対応した。しかし、施設や医療機関への入院傾向が強まり、在宅での

看取り件数が減少したため、2023年2月より、訪問看護体制強化加算Ⅰが算定できず加算Ⅱへ変更となっている。

また、感染防止対策を継続しながらの業務である中、職員が感染したことにより3日間（7月25日～27日）事業を停止したが、PPE（防護服）の着用等、感染防止対策を徹底したことで他職員や利用者等への感染拡大を防ぐことが出来た。

以上の状況等から、当期経常増減額は8百万円（前年度比▲8百万円）となった。

（居宅介護支援事業所）

居宅介護支援事業所の利用件数は1,303件（介護1,099件・予防204件）となった。相談件数は9,733件（前年度比▲136件）、法人内連携件数1,152件（前年度比▲179件）となった。また、新規受け入れ件数も、ケアマネジャー1人当たり受入枠が上限に達しているため28件（前年度比▲17件）と減少した。

以上の状況から、当期経常増減額は▲1百万円（前年同水準）となった。

○法人本部

各事業所がコロナの影響を受ける中、事業所と行政、市民とのパイプ役を担った。また取引金融機関や仕入業者との対外的な交渉を遺漏なく実施し、収益を確保するための価格交渉や、借入金返済時期前倒しによる金利負担軽減を図る等経費削減を精力的に実施した。

II. 事業運営に関する事項

(1) 役員の状態

1) 役員数

(単位:人)

区分	就任	退任	当期末	定款に定める役員数
会長 (うち常勤)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	1名
理事 (うち常勤)	12 (10)	0 (0)	12 (10)	6名以上14名以内
監事 (うち常勤)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	1名以上2名以内
計	15	0	15	

2) 当期末現在の役員

区 分			氏 名	就任日	任 期※	備 考
役職名	常勤・非常勤	代表権の有無				
会長	常勤	無	麻 生 利 正	2022年6月24日	2024年6月	
代表理事	常勤	有	森 田 辰 男	2022年6月24日	2024年6月	理事長
代表理事	常勤	有	北 澤 正 文	2022年6月24日	2024年6月	副理事長
理事	常勤	無	栗 田 昭 治	2022年6月24日	2024年6月	専務理事
理事	常勤	無	近 藤 真 寿	2022年6月24日	2024年6月	常務理事
理事	常勤	無	成 田 純 一	2022年6月24日	2024年6月	業務執行理事
理事	常勤	無	村 野 俊 一	2022年6月24日	2024年6月	
理事	常勤	無	中 間 季 雄	2022年6月24日	2024年6月	
理事	非常勤	無	川 島 吉 人	2022年6月24日	2024年6月	
理事	非常勤	無	増 山 昌 章	2022年9月6日	2024年6月	
理事	常勤	無	松 下 正 弘	2022年6月24日	2024年6月	
理事	常勤	無	堀 源	2022年6月24日	2024年6月	
理事	常勤	無	仁戸部 富 恵	2021年6月24日	2023年6月	3月31日付辞任
監事	非常勤	無	石 川 俊 之	2021年6月24日	2025年6月	
監事	非常勤	無	藤 田 正 人	2021年6月24日	2025年6月	

※理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで。

※監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで。

(2) 事業の経過

年	月	日	実施事項
'22	4	1	入職式
		5	第1回医師会・TMC連絡調整会議
	5	10	第2回医師会・TMC連絡調整会議
		16	第1回理事会（書面決議） 【議題】 ・2022年度第1回評議員会の開催に関する件 ・評議員候補者（補欠）の推薦に関する件
	6	7	第3回医師会・TMC連絡調整会議
		15	第2回理事会 【議題】 ・会長の任期満了に伴う会長候補者の推薦について ・理事の任期満了に伴う理事候補者の推薦について ・評議員選定委員（補欠）の推薦について ・2021年度事業報告（案）及び決算（案）について ・学童検診用心音心電計の更新について（TMC総合健診センター） 【報告】 ・評議員選定委員会の結果について ・固定資産税及び土地貸借料の減免要望に対する栃木市からの回答について ・TMC経営概要について
		24	第1回評議員会 【議題】 ・会長の選任について ・理事の選任について ・評議員選定委員の選任について ・2021年度事業報告（案）及び決算報告書（案）について 【報告】 ・TMC経営概要について
	7	5	第4回医師会・TMC連絡調整会議
	8	17	第4回理事会（書面決議） ・理事候補者の推薦について ・第2回評議員会の開催について

9	6	第4回医師会・TMC 連絡調整会議 第2回評議員会（書面決議） ・理事候補者（補欠）の選任に関する件
	28	第5回理事会（書面決議） 【議題】 ・看護職員等処遇改善への対応について ・育児・介護休業等に関する規則の一部改正について ・介護事業者向け業務支援システムの更新について ・東棟 変電設備の更新について（TMC とちのき） 【報告】 ・TMC 経営概要について ・医師の職位に「病院長補佐」と「主任部長」を設定すること、及び新たに「医師の職位等に関する取扱要綱」を制定することについて ・新型コロナウイルス感染症に伴う就労制限及び自宅待機に対する特別有給休暇の付与について ・栃木県：とちぎパートナーシップ宣誓制度への利用医療機関申請について ・ATM 設置契約の解約について（TMC しもつが）
	10	
11	1	第5回医師会・TMC 連絡調整会議
	22	第6回理事会（書面決議） 【議題】 ・電子カルテシステム更新事業の基本方針及びロードマップの策定について（TMC しもつが） ・放射線検査画像管理システム一式及び読影システムクライアント一式の更新について（TMC しもつが） ・放射線画像ファイリングシステム及びMWM サーバの更新について（TMC とちのき） ・セントラルモニター一式の更新について（TMC しもつが） 【報告】 ・一般財団法人とちぎメディカルセンター創立 10 周年記念事業準備室の設置について ・新型コロナウイルス感染症に関する職員の休暇等の取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症感染拡大等に伴う施設利用制限について ・COVID-19 感染防止に係る TMC 行動指針について ・一般財団法人とちぎメディカルセンター人事異動について
	12	

’23	1	20	<p>第7回理事会（書面決議）</p> <p>【議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TMC しもつが 次期電子カルテシステム更新支援業務の委託業者の選定及びロードマップ決定について ・TMC しもつが オンライン資格確認のためのシステム一式の整備について <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TMC 経営概要について ・一般財団法人とちぎメディカルセンター人事異動について
	2	7	第6回医師会・TMC 連絡調整会議
		22	<p>第8回理事会（書面決議）</p> <p>【議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度第3回評議員会の開催に関する件 ・TMC とちのき オンライン資格確認のためのシステム一式の整備について
	3	16	<p>第9回理事会</p> <p>【議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度事業計画（案）について ・TMC 法人本部等の組織機構の改編及びこれに伴う組織運営・業務分掌規程の一部改正について ・給与規程の一部改正について ・育児・介護休業等に関する規則の一部改正について ・TMC しもつが 自動免疫組織化学染色機器の更新について ・TMC とちのき 輸液ポンプの更新について <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TMC 経営概況及び今期見込みについて ・理事の辞任について
		29	<p>第3回評議員会</p> <p>【議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度事業計画書（案）について <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TMC 経営概況及び今期見込みについて ・TMC 法人本部等の組織機構の改編について ・理事の辞任について

(3) 事業実績

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	当年度	科目	当年度
I. 資産の部		II. 負債の部	
流動資産		流動負債	
現金・預金	602,195	買掛金	575,362
医業未収金	1,680,134	未払金	294,334
未収金	750,377	未払費用	130,713
医薬品	59,156	仮受金	1,805
前払費用	6,495	預り金	392
未収収益	2,678	従業員預り金	48,666
仮払金	2,990	短期借入金	196,000
立替金	922	1年内返済予定長期借入金	350,000
貸倒引当金	▲10,080	賞与引当金	389,157
流動資産合計	3,094,867	未払消費税等	11,640
		未払法人税等	165
		リース債務	238,689
		流動負債合計	2,236,923
固定資産		固定負債	
基本財産		長期借入金	5,130,658
基本財産特定預金	3,000	退職給付引当金	
基本財産合計	3,000	長期未払金	822
特定資産		長期前受補助金	220
建物	4,990,772	リース債務	515,414
建物附属設備	2,527,310	固定負債合計	5,647,115
構築物	199,971	負債合計	7,884,038
医療用器械備品	85,972		
その他の器械備品	47,655		
車両及び船舶	4,079		
ソフトウェア	2,615		
特定資産合計	7,858,375		
その他固定資産			
建物	421,289		
建物附属設備	105,780		
構築物	40,833		
医療用器械備品	82,577		
その他の器械備品	40,400		
車両及び船舶	439		
土地	440,363		
建設仮勘定	7,678		
借地権	4,797		
ソフトウェア	5,712		
その他の無形固定資産	120		
有価証券	10		
役員従業員長期貸付金	34,470		
長期前払費用	49,352		
その他の固定資産	1,623		
前払年金費用	219,766		
長期未収金	13,200		
リース資産	753,705		
その他の固定資産合計	2,222,114		
固定資産合計	10,083,489		
資産合計	13,178,355		
		正味財産の部	
		III. 正味財産の部	
		指定正味財産	
		国庫補助金	12,889
		地方公共団体補助金	5,881,110
		民間補助金	2,040
		寄付金	3,000
		指定正味財産合計	5,899,039
		一般正味財産合計	▲604,721
		正味財産合計	5,294,318
		負債・正味財産合計	13,178,355

(注) 千円未満の端数を四捨五入しているため、合計が一致しないことがある。

正味財産増減計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業収益		11,190,635
1 医業収益	10,565,497	
(1) 入院診療収益 (給食及び室料含む)	7,276,468	
(2) 外来診療収益	2,736,526	
(3) 保健予防活動収益	486,543	
(4) 受託検査・施設利用収益	6,771	
(5) その他の医業収益	72,813	
(6) 保険査定増減	▲13,624	
2 老健施設運営収益	504,060	
3 訪問看護収益	70,231	
4 老人福祉事業収益	32,414	
5 その他の事業収益	18,433	
II 受取補助金等 (内 受取補助金等振替額)	427,321	1,673,997
III 受取寄付金		170
IV 医業外収益		84,493
経常収益計		12,949,295
V 事業費		11,962,921
1 材料費	2,095,479	
2 給与費	6,443,549	
3 委託費	1,213,501	
4 設備関係費 (内 減価償却費 A)	915,172	
5 研究研修費	20,791	
6 経費	572,503	
7 その他の事業費	64,520	
VI 管理費 (内 減価償却費 B) (内 減価償却費 A+B合計) (内 支払利息)	35,584 950,756 82,174	371,886
VII その他の経常費用		11,248
経常費用計		12,346,056
当期経常増減額		603,240
VIII 経常外収益		4,431
IX 経常外費用		74
税引前一般正味財産増減額		607,597
X 法人税、住民税及び事業税		165
当期一般正味財産増減額		607,431

(注) 千円未満の端数を四捨五入しているため、合計が一致しないことがある。

Ⅲ. 各施設の事業実績

(1) 外来患者数の状況

(単位:人)

外 来	しもつが (外来243日)		とちのき (外来243日)		とちぎメディカル センター診療所 (外来243日)		合 計	
	延患者数	前年度比	延患者数	前年度比	延患者数	前年度比	延患者数	前年度比
合 計	152,128	+ 1,718	54,106	▲ 653	45	▲ 27.0	206,279	+ 1,038
1日平均	626.0	+ 4.5	222.7	▲ 3.6	0.2	▲ 0.1	848.9	+ 0.8

※とちのきについては、2021年4月1日から土曜外来休診へ変更となり、週5日稼働へ

(2) 入院患者数の状況

(単位:人,%)

入 院	しもつが (307床)		とちのき (250床)		合 計		
	延患者数 病床稼働率	前年度比	延患者数 病床稼働率	前年度比	延患者数 病床稼働率	前年度比	
一 般	73,396	+ 3,081	6,849	▲ 1,528	80,245	+ 1,553	
しもつが: 263床 とちのき: 42床	76.5%	+ 3.2%	44.7%	▲ 10.0%	72.1%	+ 1.4%	
地域包括ケア	14,958	+ 970	9,978	▲ 512	24,936	+ 458	
しもつが: 44床 とちのき: 36床	93.1%	+ 6.0%	75.9%	▲ 3.9%	85.4%	+ 1.6%	
回復期リハビリ	—	—	11,283	+ 852	11,283	+ 852	
とちのき: 36床	—	—	85.9%	+ 6.5%	85.9%	+ 6.5%	
療 養	—	—	38,763	▲ 384	38,763	▲ 384	
とちのき: 122床	—	—	87.0%	▲ 0.9%	87.0%	▲ 0.9%	
緩和ケア	—	—	3,801	+ 596	3,801	+ 596	
とちのき: 14床	—	—	74.4%	+ 11.7%	74.4%	+ 11.7%	
感 染 症	—	—	—	—	—	—	
合 計	延患者数	88,354	+ 4,051	70,674	▲ 976	159,028	+ 3,075
	1日平均	242.1	+ 11.1	193.6	▲ 2.7	435.7	+ 8.4
	病床稼働率	78.9%	+ 3.7%	77.4%	▲ 1.1%	78.2%	+ 1.5%

(3) 健診・検診事業 実施状況

(単位:人)

	人間ドック	健診・検診	備考
とちのき	3,211	2,735	
前年度比	+149	+387	
総合健診センター	526	46,273	(事業所健診14,690、学校健診24,349、 一般結核・予防接種等 1,101、生活習慣 病健診6,133)
前年度比	▲ 75	▲ 4,159	

(4) 介護老人保健施設とちぎの郷 稼働状況

(単位：人)

	年間利用者数	1日当利用者数
	(稼働日数365日)	
長期入所	27,851	76.3
前年度比	+2,861	+7.8
短期入所	1,546	4.2
前年度比	▲114	▲0.3
通所(293日)	4,268	14.6
前年度比	+120	+0.4

(入所定員：100人，通所定員：20人)

(5) 訪問看護ステーション 稼働状況

(単位：人)

	年間利用者数	1日当利用者数
	(*稼働日数240日)	
合計 延訪問件数	6,968	29.0
前年度比	▲759	▲2.9
介護保険 延訪問件数	5,252	21.9
前年度比	▲676	▲2.6
医療保険 延訪問件数	1,716	7.2
前年度比	▲83	▲0.3

※コロナ感染により、3日間業務停止したため、稼働日数を240日とする

(6) 居宅介護支援事業所 稼働状況

(単位：件)

	年間相談件数	1日当相談件数
	(稼働日数243日)	
合計 相談件数	9,733	40.1
前年度比	▲136	▲0.7
うち対面	2,096	8.6
前年度比	▲337	▲1.4
うち文書・電話	7,637	31.4
前年度比	+201	+0.7

(7) 施設の設置状況

(職員配置数は単位：人)

施設名		しもつが		とちのき		とちぎの郷		総合健診センター	
許可・稼働病床等	一般 (地域包括ケア)	301床	257床	128床	42床	—	—	—	—
	(回復リハ)		44床		36床				
	(緩和ケア)	—	36床						
	療養	—	14床						
	感染症	6床	—	122床	—	—	—	—	
	計	307床	—	250床	—	—	—	—	
	老健施設	—	—	—	—	100床	—	—	
職員配置数		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
	医師	52.0	13.2	10.5	5.1	2.5	—	1.0	0.1
	保健師	—	0.4	2.0	—	—	—	—	—
	看護師	239.0	28.3	119.0	7.1	11.0	—	4.0	2.9
	准看護師	13.0	4.8	22.0	1.1	3.0	1.3	1.0	0.3
	薬剤師	11.0	1.4	4.7	0.1	0.3	—	—	—
	臨床検査技師	26.0	3.3	14.0	—	—	—	6.0	0.8
	放射線技師	17.0	0.8	8.0	—	—	—	2.0	—
	管理栄養士	7.0	—	5.0	—	1.0	—	—	0.8
	理学療法士	19.0	0.1	24.0	—	7.0	—	—	—
	作業療法士	9.0	—	9.0	—	3.0	—	—	—
	言語聴覚士	5.0	—	8.0	—	1.0	—	—	—
	視能訓練士	2.0	0.6	—	—	—	—	—	—
	臨床工学技士	6.0	—	5.0	—	—	—	—	—
	社会福祉士	4.0	—	3.0	—	1.0	0.7	—	—
	精神保健福祉士	—	—	1.0	—	—	—	—	—
	公認心理師	1.0	—	—	0.3	—	—	—	—
	臨床心理士	—	—	—	—	—	—	—	—
	介護福祉士	—	—	16.0	2.2	27.0	—	—	—
	保育士	5.0	—	5.0	—	—	—	—	—
	一般事務員	24.0	—	22.0	0.4	—	—	20.0	0.7
	医事事務員	11.0	—	11.0	0.9	4.0	—	—	—
	薬局事務員	—	—	—	—	—	—	—	—
	診療情報管理士	9.0	—	2.0	—	—	—	—	—
	クラーク	11.0	0.9	5.0	—	—	—	—	—
	医師事務作業補助者	19.0	—	12.0	—	—	—	—	—
	薬局助手	3.0	0.8	1.0	0.8	—	—	—	—
放射線助手	2.0	—	1.0	0.6	—	—	—	—	
検査助手	3.0	1.3	—	—	—	—	—	—	
リハビリ助手	1.0	—	2.0	—	—	—	—	—	
施設管理員	—	—	2.0	—	—	—	2.0	—	
看護補助	4.0	2.7	1.0	1.0	1.0	—	—	—	
看護助手	11.0	4.6	13.0	1.1	3.0	—	—	—	
運転手	1.0	—	—	—	1.0	0.4	1.0	—	
その他の労務員	1.0	0.8	2.0	0.8	—	—	—	—	
計	516.0	64.0	330.2	21.5	65.8	2.4	37.0	5.6	
基準許可	入院 基本料	一般	急性期一般入院料 1	急性期一般入院料 5	—	—	—	—	
		地域包括ケア	入院料 2	入院料 2	—	—	—	—	
		回復リハ	—	入院料 3	—	—	—	—	
		緩和ケア	—	○	—	—	—	—	
	療養	—	療養病棟入院料 1	—	—	—	—		
各種指定	救急告示病院	○	—	○	—	—	—	—	
	臨床研修病院	○(基幹・協力)	—	—	—	—	—	—	
	地域医療支援病院	○	—	—	—	—	—	—	
	日本医療機能評価	—	—	○	—	—	—	—	

施設名		訪問看護ステーション		居宅介護支援事業所		本部		合計	
許可・稼働病床等	一般	—	—	—	—	—	—	—	—
	(地域包括ケア)	—	—	—	—	—	—	—	—
	(回復リハ)	—	—	—	—	—	—	—	—
	(緩和ケア)	—	—	—	—	—	—	—	—
	療養	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染症	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—	—	—
老健施設	—	—	—	—	—	—	—	—	
職員配置数		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
	医師							66.0	18.4
	保健師							2.0	0.4
	看護師	7.0	0.5	1.0	0.5	2.0		383.0	40.0
	准看護師	1.0						40.0	7.5
	薬剤師							16.0	1.5
	臨床検査技師							46.0	4.1
	放射線技師							27.0	0.8
	管理栄養士							13.0	0.8
	理学療法士							50.0	0.1
	作業療法士							21.0	
	言語聴覚士							14.0	
	視能訓練士							2.0	0.6
	臨床工学技士							11.0	
	社会福祉士			1.0				9.0	0.7
	精神保健福祉士							1.0	
	公認心理師							1.0	
	臨床心理士								0.3
	介護福祉士							43.0	2.2
	保育士							10.0	
	一般事務員	1.0					14.0	81.0	1.1
	医事事務員							26.0	0.9
	薬局事務員								
	診療情報管理士							11.0	
	クラーク							16.0	0.9
	医師事務作業補助者							31.0	
	薬局助手							4.0	1.6
放射線助手							3.0	0.6	
検査助手							3.0	1.3	
リハビリ助手							3.0		
施設管理員							4.0		
看護補助							6.0	3.7	
看護助手							27.0	5.7	
運転手							3.0	0.4	
その他の労務員							3.0	1.6	
	計	9.0	0.5	2.0	0.5	16.0	976.0	95.2	
基準許可	入院基本料	一般	—	—	—	—	—	—	—
		地域包括ケア	—	—	—	—	—	—	—
		回復リハ	—	—	—	—	—	—	—
		緩和ケア	—	—	—	—	—	—	—
		療養	—	—	—	—	—	—	—
各種指定	救急告示病院	—	—	—	—	—	—	—	
	臨床研修病院	—	—	—	—	—	—	—	
	地域医療支援病院	—	—	—	—	—	—	—	
	日本医療機能評価	—	—	—	—	—	—	—	

(注) 非常勤は常勤換算数にて表示

【非常勤職員 1 人当たりの常勤換算計算方法】 = 【非常勤職員の勤務時間】 ÷ 【常勤職員が勤務すべき時間】

(8) 職員の状況

(単位：人)

職 種		期 首		期 末	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤
医 師		64.0	17.4	66.0	18.4
看護職員	保 健 師	2.0	0.4	2.0	0.4
	助 産 師	0.0	0.0		
	看 護 師	395.0	32.8	383.0	40.0
	准 看 護 師	41.0	6.6	40.0	7.5
	小 計	438.0	39.8	425.0	47.9
医療技術員	薬 剤 師	17.0	0.8	16.0	1.5
	臨 床 検 査 技 師	46.0	4.0	46.0	4.1
	放 射 線 技 師	28.0	0.6	27.0	0.8
	管 理 栄 養 士	13.0	0.9	13.0	0.8
	理 学 療 法 士	53.0	0.1	50.0	0.1
	作 業 療 法 士	25.0	0.0	21.0	0.0
	言 語 聴 覚 士	14.0	0.0	14.0	0.0
	視 能 訓 練 士	1.0	1.1	2.0	0.6
	臨 床 工 学 技 士	11.0	0.0	11.0	0.0
	社 会 福 祉 士	10.0	0.8	9.0	0.7
	精 神 保 健 福 祉 士	1.0	0.0	1.0	0.0
	公 認 心 理 師	1.0	0.0	1.0	0.0
	臨 床 心 理 士	0.0	0.3	0.0	0.3
	介 護 福 祉 士	45.0	1.3	43.0	2.2
	保 育 士	10.0	0.0	10.0	0.0
小 計	275.0	9.9	264.0	11.1	
事務員	一 般 事 務	80.0	1.2	81.0	1.1
	医 事 事 務	27.0	1.3	26.0	0.9
	薬 局 事 務				
	診 療 情 報	10.0	0.0	11.0	0.0
	ク ラ ー ク	15.0	0.7	16.0	0.9
	医 師 事 務	32.0	0.0	31.0	0.0
	小 計	164.0	3.2	165.0	2.9
その他の職員	薬 局 助 手	4.0	1.5	4.0	1.6
	放 射 線 助 手	3.0	0.6	3.0	0.6
	検 査 助 手	3.0	1.1	3.0	1.3
	リ ハ ビ リ 助 手	2.0	0.0	3.0	0.0
	施 設 管 理 員	4.0	0.0	4.0	0.0
	電 気 技 師				
	看 護 助 手	7.0	0.0	27.0	5.7
	看 護 補 助	26.0	7.4	6.0	3.7
	運 転 手	5.0	0.1	3.0	0.4
	そ の 他 の 労 務 員	3.0	1.6	3.0	1.6
	小 計	57.0	12.3	56.0	14.9
計	998.0	82.6	976.0	95.2	

(注) 非常勤は常勤換算数にて表示

【非常勤職員1人当たりの常勤換算計算方法】＝【非常勤職員の勤務時間】÷【常勤職員が勤務すべき時間】